

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報・IR室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>

2016年11月7日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

**静止気象衛星「ひまわり9号」に  
ジーエス・ユアサ テクノロジー製の宇宙用リチウムイオン電池を搭載**

GSユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー(社長:加藤 泰一郎、本社:京都府福知山市。以下、GYT)製の宇宙用リチウムイオン電池が、2016年11月2日に種子島宇宙センターから打ち上げられた、三菱電機株式会社(執行役社長:柵山 正樹、本社:東京都千代田区。以下、三菱電機)製の静止気象衛星「ひまわり9号」に搭載されています。本衛星は軌道上で試験を行った後、2029年度までの長期間にわたり気象観測に使用される予定です。

GYTは1998年から三菱電機殿と共同で人工衛星用リチウムイオン電池を開発してきました。

GYT製のリチウムイオン電池は、2005年に打ち上げられた商用衛星に初めて採用され、それ以降多くの衛星に搭載されてきました。その実績を評価され、現在も正式運用されている静止気象衛星「ひまわり8号」(2014年打ち上げ)に続いて、今般の「ひまわり9号」にも採用されました。

現在、人工衛星や宇宙ステーション補給機などの宇宙機へのGYT製リチウムイオン電池の採用数は110機を超えており、今後開発される人工衛星にも採用が見込まれます。

GYTは特殊用途の電池や電源を開発・製造販売しており、海・陸・空(水深6,500mの深海から、上空36,000kmの宇宙空間まで)の特殊環境フィールドで、高性能かつ高品質な電池をお届けしています。

今後も“深海から宇宙”まで、厳しい環境下でも高性能を発揮する電池や電源に特化し、その無限の可能性に挑戦してまいります。

**【静止気象衛星「ひまわり9号」へ搭載されたリチウムイオン電池の仕様】**

部品番号	LMG050
公称電圧(V)	3.7
容量(Ah)	50
寸法(mm)※	W130×D50×H131
質量(g)	1,510

※ 寸法Hは端子まで(スタッドボルトは除く)

【写真】

1. ひまわり9号(提供:気象庁殿)



2. ひまわり9号用 GYT 製リチウムイオン電池「LMG050」 (三菱電機殿認定品)



---

[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー 営業部 TEL 03-5402-5867

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 広報・IR室 TEL 075-312-1214